



日本ブラインドマラソン協会 JBMA 会報

発行所

特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会
〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番8号 本郷朝風ビル5F
ホームページ：<https://www.jbma.or.jp/>
TEL/FAX：03-3814-3229 E-mail：info@jbma.or.jp
発行責任者：澤木 啓祐 / 編集責任：事務局

道下美里選手、銅メダル獲得おめでとうございます！
協会を支えていただいた皆さま、ご声援ありがとうございました。

マラソン女子

銅メダル 道下 美里 (三井住友海上火災保険) 3時間04分23秒



ガイドランナー 山下 克尚 (エヴォスタ松山) / 志田 淳 (日本電気)

マラソン男子

第7位 堀越 信司 (西日本電信電話) 2時間28分03秒

第9位 和田 伸也 (長瀬産業) 2時間29分59秒 T11クラス
パラリンピック新

ガイドランナー 古和田 響 / 長谷部 匠 (長瀬産業)

第10位 熊谷 豊 (三井ダイレクト損害保険) 2時間32分26秒

トラック種目 5000m

第4位 和田伸也 15分16秒41

パリ2024パラリンピックにおいて、協会登録の道下美里選手が、リオから3大会連続となるメダルを獲得しました！これもひとえに、日頃より協会活動へのご支援を賜っております関係者皆様のおかげと厚くお礼申し上げます。協会登録選手の結果は次の通りです。

photo by
Moto Yoshimura

メダルを掲げる道下選手と前半伴走の山下さん

パリ2024パラリンピック報告

各選手コメント

道下 美里

リオ、東京に続く三大大会連続のメダル獲得を目指し出場してきました。9月3日早朝、事前合宿のお宿を出発し羽田空港から約15時間のフライトを経てパリのシャルルドゴール空港に到着しました。時差7時間なので選手村へ到着したのは夕方でした。パリは午後4時頃には30度近くなる日もありましたが朝晩は厚手のスウェット上下でも肌寒く感じる日もありました。

レース当日朝は気温14度、ゴール時も18度と、9月にしては最高のマラソン日和となりました。東京パラからの3年間で女子のレベルが一気に上がり、本大会は日本から女子一人の出場でした。強化合宿と一緒に練習を重ねてきた仲間の思いも胸に、前半20キロを山下克尚さん、後半を志田淳さんにガイドしていただきました。

若くてスピードのある選手が複数いる中で、前半は自分のペースを維持し後半粘ってメダルに絡む作戦でした。しかしヨーロッパ特有の、大きさも高さも違う石畳や、車のスピードを緩めるためのバンブが思ったより足にダメージを与えていたのか、25キロ付近でペースが落ち、ラストは踏みとどまったものの自力では4着で3時間4分23秒のゴールと悔しさの残る内容でした。

その後3着でゴールしたスペインのコンゴスト選手の失格により、銅メダル獲得となり正直なところ複雑な心の中ではありますが、いつもコーチが「最後まで何が起きるか分からない。だから一つでも前でフィニッシュすることが大事」といつていた言葉がこの結果に繋がった要因の一つだと思います。レース中、常に前に前に意識が向くように声をかけ続けてくれた伴走者。そしてこの3年間、辛い時もありましたが支え励まし、可能性を信じ応援し続けてくださった皆様一人一人に心からの感謝と敬意を表したいと思います。

堀越 信司

いつも応援・サポートありがとうございます。2大会連続でのメダル獲得を目指し取り組んできましたが、力不足でメダルを獲得できず、また支えてくださった方の思いにメダルという形で報いることができず非常に悔しいです。

しかしこんな私に対しても、レース後から今に至るまで「これからも頑張つて欲しい」「ロスまで諦めずに走り続けて欲しい」といったお言葉をくださる方が沢山いらっしゃり、そういった方々の思いにとても救われています。本当にありがとうございます。

皆さんの想いを力に、結果を残せるようこれからも頑張ります。

和田 伸也

会員の皆様、日本からたくさんご声援をありがとうございます。ありがとうございました。

私は4度目のパラリンピック出場で、これまで3種目出場していたのとは異なり、5000mとマラソンの2種目に絞つてチャレンジいたしました。

出場2種目ともに、これまで取り組んできましたことをすべて発揮し、パラリンピックでは最もよい記録をマークでき、全力で駆け抜けることができました！

マラソンでは、特に中間点以降、バンプと言われる段差や石畳、狭められたコースで徐行せざるを得ない箇所も多々ある中、4大会連続で、T11からT12種目に果敢にチャレンジできたことは、皆様からのご声援があったからこそだと思っています。ありがとうございます。大きく転倒することもなく、2時間30分切は死守してフィニッシュできて、大変よかったです。

今後も更なる上を目指してがんばっていきたいと思っています。引き続き、ご声援のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

熊谷 豊

今回のパリパラリンピックは、東京パラリンピックに引き続き2回目の出場となりました。

メダル獲得を目指し、トレーニングに打ち込みました。

マラソン当日のパリの天候は、気温と湿度共に低く、スピードレースになることが予測されました。序盤は想定内のペースで走ることができましたが、19kmで転倒してしまい、後半は足の痛みがありペースダウンしてしまいました。それでも、前進することだけに集中し、ゴールを目指しました。順位は10位という結果でしたが、最後まで諦めず力を尽くせたのは、日々の練習とご支援のおかげです。引き続き課題を克服しながら競技を継続していきます。温かく熱いご声援ありがとうございます。

強化委員長 安田享平

多くの方々のご協力ご支援により、当協会からパリパラリンピック日本代表に選考された女子の道下美里選手が銅メダルを獲得（3大会連続のメダル獲得）。男子は、堀越信司選手が7位入賞（3大会連続入賞）。そして、和田伸也選手が9位、熊谷豊選手が10位と続きました。まずは、皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、今大会は前回の東京パラリンピックが1年延期になった悪影響もありました。そんな中、銅メダルを獲得した道下選手はエントリーしていた前半の伴走者が体調不良となり、直前にその伴走者を変更する事態にも……。しかし、変更した前半の伴走者が好アシストし、最後は銅メダルを呼び込みました。

また、日本は他国に先んじて伴走者の人選や強化にも力を注いできました。定期的に実施している強化合宿においても、選手と伴走者強化を常に並行し、まさに選手と伴走者が切磋琢磨しながら世界に挑んできました。

さらに、当協会が発足当初から継続している「伴走者養成講習会」などの活動が、パラリンピックでのメダル獲得にも繋がりました。ご協力ご支援頂いた皆様には、重ねて御礼申し上げます。



photo by Moto Yoshimura

和田選手と後半伴走の長谷部さん



photo by Moto Yoshimura

3位集団で力走する熊谷選手、堀越選手

大会報告

北海道マラソン2024

8月25日、北海道マラソンが開催されました。視覚障がい部には、男女合わせて22名のエントリーがあり、パラリンピック代表不在の今年は、次の日本代表を目指す選手たちにとっても、貴重な大会となりました。

大会結果		
順位 / 氏名 / 記録 /		
WPA登録の部		
1位	高井俊治	2:35:19
2位	大石航翼	2:53:39
3位	加治佐博昭	3:30:23
視覚障がい者の部 男子		
1位	望月達哉	3:24:06
2位	武川泰幸	3:25:28
3位	山下幸長	4:05:38
視覚障がい者の部 女子		
1位	高村直美	5:16:26
2位	山口久美子	5:30:01
3位	的場典子	5:50:29

かすみがうらマラソン兼 国際ブラインドマラソン2024

恒例のかすみがうらマラソン大会(当協会共催)は、4月21日に140名のブラインドランナーがエントリーして開催されました。パラリンピックのランキングアップを目指す選手もいれば、仲間とともにエンジョイランを楽しむ方など、久しぶりに活気を帯びた大会となりました。

大会結果		
順位 / 氏名 / 記録 /		
マラソン	男子	1位 堀越信司 2:22:19
		2位 熊谷豊 2:31:38
		3位 高井俊治 2:39:15
	女子	1位 道下美里 3:04:44
		2位 大谷洋子 3:10:59
		3位 近藤寛子 3:21:58
10マイル	男子	1位 高橋勇市 1:08:46
		2位 勝又直 1:10:32
		3位 高木秀和 1:12:01
	女子	1位 西島美保子 1:18:28
		2位 井口深雪 1:26:58
		3位 高村直美 1:32:02
5キロ	男子	1位 吉田英世 22:42
		2位 坂本孝暁 24:45
		3位 三上直人 25:43
	女子	1位 安部和美 27:28
		2位 黒澤絵美 27:38
		3位 高澤節子 33:51

研修会報告

「伴走者養成研修・視覚障がい者マラソン 研修会(富津)」報告

(日本財団パラスポーツサポートセンター助成事業)

9月14日(土)〜15日(日)の二日間、千葉県富津市の富津公園において、伴走者養成・視覚障がい者マラソン研修会を開催しました。厳しい残暑が残る中での研修となりましたが、パリから戻ったばかりの安田常務理事(強化委員長)、志田理事(道下選手の伴走)、オリンピック金メダリスト野口理事による「マラソン談義」をはじめ、長野県視覚障がい者マラソン協会と代々木公園伴走・伴歩クラブによる「活動発表」など、充実した内容の研修に加え、5kmペース走を中心とした実践的実技も実施しました。参加者の皆さんは熱心に研修に取り組み、楽しく有意義な研修会となりました。



ペース走



マラソン座談会



集合写真

山田昇記念財団特別協賛研修会の報告

今年度も、公益財団法人山田昇記念財団様の特別協賛により伴走者養成研修会を開催しています。参加者には財団より特性のガイドビブスとガイドロープが提供されました。

豊田市研修会

6月23日(日)に、愛知県豊田市中で行われた「豊田ブラインド伴走者協会主催(当協会共催)の研修会」に講師を派遣しました。豊田西部コミュニティセンター多目的ホールに33名の受講者が集い、2年目を迎えた伴走者協会の着実な発展が実感できる研修会となりました。



お疲れ様でした

伴走者養成研修会 東京(第一回)

7月15日(月・祝)、全国障害者総合福祉センター(東京都新宿区)において開催しました。アメリカや台湾などからの参加もあり、皆さん真剣に伴走に取り組んでいらっしゃいました。



戸山サンライズ体育館

長野市研修会

7月21日(日)、長野県視覚障がい者マラソン協会(NBMA)主催(当協会共催)の伴走講習会に講師を派遣しました。66名の受講者が、伴走の理論と実技を体験したのは南長野運動公園。長野オリンピックの会場にもなった素晴らしい総合施設です。大変暑い日でしたが、実技の会場を日陰の駐車場に変更したり、主催のNBMAによる給水があつたりで、無事に研修会を終えました。NBMAの皆さま、大変お世話になりました。



大勢の参加者でいっぱいの講義室

その他研修会

日本ブラインドマラソン協会では、自治体や企業・団体、教育機関等からの要請にお応えして、各種講座等に講師・スタッフを派遣しています。以下、今年度実施した研修会をご紹介します。

- ・株式会社ブリヂストン ソフトロボティクス・ベンチャーズ
- ・オンジャパン株式会社横浜オフィス
- ・株式会社アシックス
- ・渋谷区ボランティアセミナー
- ・横浜市立義務教育学校緑園学園教職員研修

今後の山田昇記念財団 特別協賛伴走研修会予定

伴走教室 in 徳島

日時：2024年11月10日(日)
会場：徳島市内町小学校体育館(予定)
主催：特定非営利活動法人あわとも

佐世保伴友会伴走教室

日時：2024年11月17日(日)
会場：佐世保市社会福祉協議会ボランティアセンター
主催：佐世保市社会福祉協議会(予定)

第2回東京研修会

日時：会場：未定
主催：日本ブラインドマラソン協会
※日時・場所が決まりましたら、ホームページご案内いたします。

今後の行事予定

OSAKAEKIDEN in 長居 兼 第27回全国視覚障がい者駅伝大会

開催日：2024年11月4日(月・休)
会場：ヤンマースタジアム長居(大阪市)
※スポーツ振興くじ助成事業

第42回J BMAユニファイドラン

開催日：2024年12月7日(土)
会場：国立競技場(東京都) ※神宮外苑は使用しません。
※スポーツ振興くじ助成事業

その他の予定

11月23日(木・祝) 第32回福知山マラソン
12月1日(日) 第55回防府読売マラソン
(第25回日本視覚障がい女子マラソン選手権)
2025年
2月2日(日) 第73回別府大分毎日マラソン
(第25回日本視覚障がい男子マラソン選手権)
2月16日(日) 日産ふれあいロードレース

令和6・7年度役員紹介

5月25日に定例社員総会で承認された令和6・7年度の協会役員をご紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。

顧問	河野洋平、多田宏、奥村康、松井純子
会長	羽毛田信吾
理事長	澤木啓祐
常務理事	八木陽平、安田享平、在田宗悟、日隈広至
理事	中山敏郎、河幹夫、中田崇志、西内克己、天野正子、志田淳、岡村正広、渡邊恵美子、星祐子、野口みずき
監事	吉田秀博、西田昌弘、石井隆士
特任理事	柳川春己、高橋勇市、保科清、越宮康夫、仲村明、田中宏昌
参与	佐藤信太郎、鈴木雅丈、鈴木邦雄、泉富夫
医事委員	貞松良成、村上茂樹、金子晴香、北村伸哉
事務局長	原田清生

J BMA副会長退任のご挨拶

この度副会長を退任致しました松井純子です。
在任中は役員・会員・関係者の皆様からのご支援・お力添えを頂き誠に有難うございました。

日本盲人マラソン協会の誕生は1983年大阪長居陸上競技場で開催された第1回盲人マラソン大会です。成功裏に開催されたこの大会を機に「盲人マラソン普及」の熱が高まり、日本盲人マラソン協会は設立され、今日まで視覚障害者ランナーの普及、選手の強化、伴走者養成講習会などの活動を実践してきました。

1984年から東京代々木公園でJ BMAの定期練習会が始まりました。当時は障害者への理解は全く感じられませんでした。J BMAの代々木公園練習会では、ボランティアの協力で原宿駅からの同行や伴走の協力が当初よりなされ、会員の皆さま方のご協力の結果徐々に障害者ランナーの輪も広がり、今に繋がる社会参加が大幅に促進されました。

私がJ BMAに入会したのは父から代々木公園の練習会に誘われたのがはじまりです。

当時、私は四谷にある社会福祉法人日本視覚障害者職能開発センターで視覚障害者の社会自立支援に関わっていました。視覚障害者の社会自立の相談支援に携わっていたため、相談者に日常生活復帰や社会復帰のプロセスで当事者にマラソンやウォーキングの紹介をすることにも繋がりました。協会の草創期を知るものとしては、今日のように視覚障害者アスリートの世界での活躍や市民マラソン、健康維持増進のウォーキングをする雄姿を見ることには、隔世の感がありJ BMAの活動の成果として誇らしく思います。

社会の中で障害者への理解は徐々に進展しておりますが、まだまだ壁も残っています。

私はJ BMAの副会長を退任致しましたが、今後もJ BMAの活動を通じこうしたみえない壁を打ちこわし、J BMAが更に進化されますように祈念しております。

編集後記

会報150号では、パリ2024パラリンピックに出場したマラソン日本代表選手のコメントをご紹介します。3大会連続のメダルを獲得した道下選手はもちろんですが、日本代表としてパリの難コースに立ち向かった選手の皆さんに、拍手を送りたいと思います。また、ご家族・伴走者をはじめ、各方面から選手・協会をお支えいただいている関係者すべての皆様に、心より感謝を申し上げます。

協会では、強化活動だけでなく、普及や研修をはじめとした各種活動にも積極的に取り組んでいます。

伴走研修会の開催について、ご要望やご相談がございましたら、事務局までご連絡ください。

皆さまが、安全で健康な生活を送ることができまよう祈念いたします。